

歯科保健の維持、管理と支援



スペシャルニーズ歯科で発達の凸凹のある 子どもたちに目指すこと

- ・ 発達に凸凹のある子どもたちの健康で安全な生活を支援するために必要な、リハビリテーションを含めた歯科医療を提供するとともに、その子の生き方に沿った口や歯の健康プランを提示して、それを支援する考えを心において、その子の発達特性に配慮した歯科医療を提供することです。

口腔ケア

口の中を清潔にすることは、歯や口の疾患を予防するだけでなく、口腔内の細菌を抑制し、呼吸器などの感染症を予防するなど、とても重要です。

食べることは感覚—運動系なので、センサーである口の感度をよくするためにも大切です

磨きにくくて力が入りすぎたり
裏側が磨きにくい



こんなに虫歯を作ってしまった



痙攣どめの薬の副作用



経口摂取でないほど歯は汚れる 歯石の沈着



なんとなく歯が白っぽい



お薬を飲む時どうしてますか？

- 薬は飲まないといけない

でも、飲まない

- 何かで美味しくだまし・だまし

アイス・ヨーグルト・ジュースなど

- 口の中に残ってない？

歯は大丈夫？

学齡期に気を付けること

- 小学校低学年

乳歯と永久歯の生え変わり

第1臼歯の萌出

- 小学校中学年

犬歯・小臼歯の生え変わり

- 小学校高学年

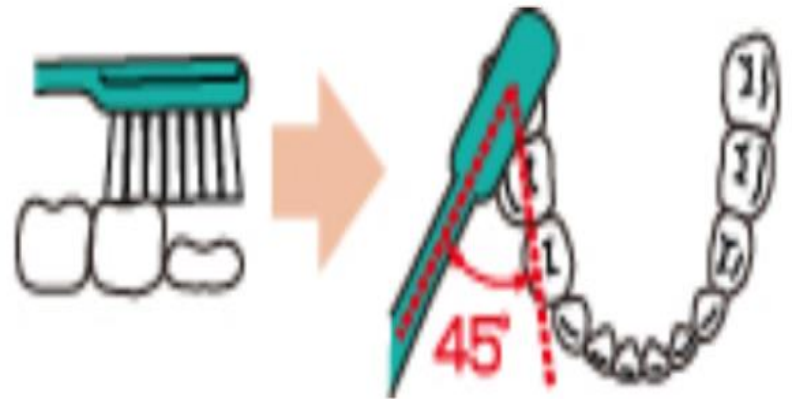
永久歯列完成

第2大臼歯の萌出

- 中学生・高校生

永久歯列完成

●背の低い歯は…



こんな困りごとはないですか

- 歯ブラシが苦手
- 砂・水遊びなどを過剰に嫌がるか過剰に好む
- 体育館など大勢人がいる場所を嫌がる
- 過剰にくすぐったがる
- 初めての人や、初めての場所を嫌がる
- 人が近づくと逃げたり、視線をそらす
- 帽子・メガネ・マスク・ハイネックの上着・靴下が嫌い
- 爪噛みや指な目が多い

歯ブラシの困り感

- 騒ぎ立てて、抵抗して、噛みついて・・・
歯磨きだけでなく、耳掃除、爪切り等々

まるで戦争・・・

どんな理由が考えられるでしょうか

- 感覚が過敏である
口の中に指や歯ブラシを入れられることや、歯ブラシで
ごしごしするのを嫌がる
- こだわりがある
家ではできるけれど場所や時間が変わるとできない(逆もあり)
いつもの時間・いつもの場所・いつもの歯ブラシ
- 言葉をそのまま受け止める
「歯磨きしないと歯が痛くなっちゃうよ」などの注意が逆効果
痛いなどのマイナス言葉は使わない
- じっとしているのが苦手
仕上げ時間の時間が待てない
概念がわからないので、数量化する
固有感覚・前庭感覚など感覚統合訓練を取り入れよう

ちょっとだけ感覚統合のお話し

- 人の感覚には、聴覚や視覚、**触覚**、嗅覚、味覚の**五感**のほかに、自覚しにくい感覚に固有間感覚と前庭感覚があります。
- **固有感覚**とは体の動きを感じる感覚
- **前庭感覚**は平衡感覚とも呼ばれ、身体のバランスをとるための感覚
- 発達凸凹があると、この感覚を適切に感じられなかったり、情報を整理できないせいで困った行動が起きてしまいます。
- つまり「**触覚・固有感覚・平衡感覚**」のネットワークの**発達の混乱**＝脳の中で交通整理ができていない状態

触覚のふたつの系統

原始系

- 原始的で本能的な働き
- 反射的に身を守る防衛反応
- 攻撃行動(噛みつく・ひっかく)
- 熱い鍋をうっかり触ったとき、夜道にいきなり後ろから首筋に触られたときどうします??
- 赤ちゃんが唇に触れるとチュッチュする吸啜反射
- 取り込み反応
- 歯磨きなどの行為を嫌がるのはこれが暴走している状態

識別系

- 触れたものの素材や形などを触り分けたり、自分の身体のどの位置に触っているかを感知する、認知的な働き



触覚防衛反応

- 「触覚」の交通整理にトラブルを生ずると「育てにくさ」を感じる
- 「自分からは触りに行く」ことができて、「触られたらいやがる」
- ヌルヌル系、チクチク系、フワフワ系、ヒエヒエ系が嫌い
- でも、ちょっとしたはずみで「嫌う」から「過剰に好む」行動に変化なぜ？ 防衛反応から取り込み反応に切り替わっただけ
- 優しくそっと触られるのが嫌い

触覚防衛反応のメカニズム

- 原始系の機能が暴走してしまっている状態
- 触覚情報は原始系のスイッチが入りやすい
- 「取り込み行動」や「攻撃行動」に使っているのは口やその周辺→噛みつく、ひっかく



そっと触ったり、狭い面積で刺激を入れるのが「歯磨き」
歯ブラシの毛先はチクチク系

触覚防衛反応の理解へ

- 生理的な反応のため、好きとか嫌いとか考えて判断するようなものでなく、「とにかく辛い」といった辛さ。
- 「繰り返せば慣れる」といったものではありません
- 発達をつまづきがあると「識別系」が「原始系」をうまく抑制できず本能的な行動が残ってしまっている状況です。
- 触覚防衛を示す子どもの内面世界を理解し、生きづらさを理解することが支援のスタートです。



一人で頑張らないで

家庭や通園・通所でのセルフケアとプロ
フェッショナルケアを使いをける

定期検診ではなく、専門医と協力して
継続管理をしていきましょう

かかりつけ歯科医を持ちましょう